# 【ハコスコ対応】VRゲームに ニフティクラウドmobile backend(mBaaS)を使って オンラインランキングを実装しよう



- ごあいさつ
- mBaaSについて
- ハンズオンについて
- 事前準備
- mBaaSへの認証の準備
- ●データ更新実装
- ランキング実装
- まとめ

# ごあいさつ

本日は二フティブースに お越しいただきありがとうございます。 ハンズオンはmBaaSを使ってUnityゲームにサー バー機能を

「**素早く 無料**」で導入するハンズオンです。 ハンズオンでは下記の2つのことが体験できます

- ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

ぜひお楽しみください!

# ニフティクラウドmobile backendとは?



スマートフォンアプリの**バックエンド機能**が

# 開発不要になるクラウドサービス

ニフティクラウドmobile backendとは mBaaS(mobile backend as a Service)と呼ばれる、 クラウドサービスのジャンルのひとつで スマートフォンアプリでよく利用される汎用的な機能を クラウドから提供するサービスです。

クラウド上に用意された機能を API・SDKで呼び出すだけで利用できるので、 サーバー開発・運用不要でよりリッチなバックエンド機能を アプリに実装することができ、工数削減による コストカット・スピードアップに貢献します。

※SDKはUnity,iOS, Android, JavaScriptの4つを提供しております

#### 提供中の機能













# Unityに導入することで実現できること

# UnitySDKで提供中の機能







#### Android・iOS各プラットフォームへの プッシュ通知配信



# ユーザーログイン認証

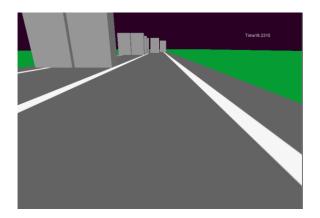


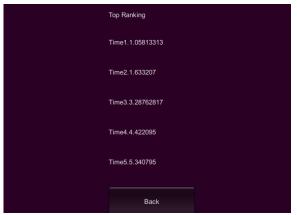
### オンラインランキング



# 本日のハンズオンで行うこと

# データストアの更新・取得を利用した スコア保存・ランキングの実装





VRレーシングゲームに ニフティクラウドmobile backendを導入します。

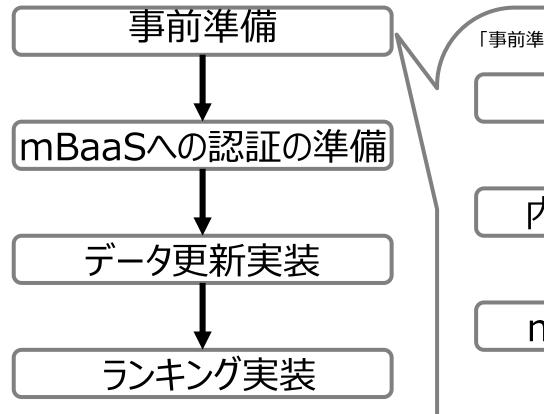
このハンズオンでは下記の二つのことが体験できます

- ・ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

どちらもアーケード形式を想定してご案内いたします。 なにとぞよろしくお願いいたします。

# ハンズオンの流れ

本日のハンズオンは大きく分けて4つのフローで行います。まずは事前準備からです。。



「事前準備」にておこなうこと 資料のDL 内容物·動作確認 mBaaS利用登録 mBaaSのアプリ作成

※mBaaSのアプリ作成とは アプリ用のサーバー環境を作っています

# 資料がしにあります

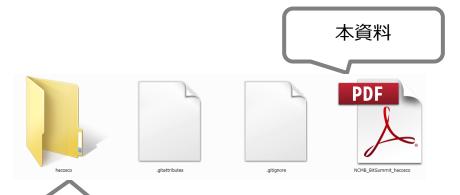
https://github.com/hounenhounen/NCMB\_CEDEC\_hacoscon



# 内容物·動作確認

# 内容物確認

DLファイルフォルダには以下の3つが含まれています



#### 動作確認

ハンズオンで使うフォルダhacoscoの中に Asset> Scenes Start.sceneをダブルクリッ クしてゲームを実行してください スタート 時とプレイ時時に下記の画面が出ればひとま ず大丈夫です

> 実行・ゲームオーバー時に 下記の画面が出ればOK

ハンズオンで使うファイル

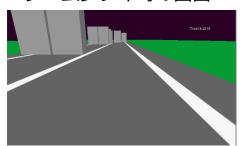
## 注意

- 本資料をおくフォルダのパスに 全角文字は使用なさらないでください 場合によってはエラーが表示されます
- 2. 本ファイルはUnity4系で 作成しています5系を利用の方は Upgradeが必要となります

ゲームスタート時の画面



ゲームプレイ時の画面



## mBaaSの利用登録 1/4

まず、下記URLよりmBaaSのサービスサイトに アクセスしていただきます。

※右クリックして新しいタブで開くと便利です

http://mb.cloud.nifty.com/

ここをクリック



無料登録をしていただくと、@nifty会員登録を行うフローに移ります。 @nifty会員登録をしていただいた後、mBaaSにログインしていただくと mBaaSの利用登録が行えます。以下上記のフローの説明を行います。

# mBaaSの利用登録 2/4



# mBaaSの利用登録 3/4

必要事項を入力して @nifty会員登録してください

# 無料でID登録

まずは無料から、二フティクラウド mobile backendをお試しください!

#### 基本情報の入力

ユーザー名 ※		・入力時における注意
パスワード※	[半角6~24文字]	・使用できる文字 【ご注意】パスワードの不正利用を防ぐために
メールアドレス ※		・入力されるメールアドレスについて

@nifty会員規約 個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱い及び@nifty会員規約に同意し

登 録

# mBaaSの利用登録 4/4

ニフティクラウドmobile backendの利用登録を行います。 http://mb.cloud.nifty.com/



◆@niftyTop ◆@nifty会員に登録 お問い合わせ 利用規約 個人情報保護ポリシー

mobile backend

利用規約を 確認後、同意して 利用開始!



利用規約

開発者向けドキュメント

**カ**ログアウト @nifty

**©NIFTY** Corporation

ご登録いただいた **@nifty IDで** ログイン

C	コグイン				
ľ	【お知らせ】SSL3.0 <u>脆弱性への対応に伴うブラウザ</u> ~				
	@niftyユーザー名または、@nifty IDをお持ちの方				
	@niftyユーザー名または@nifty ID				
	@niftyユーザー名または@nifty ID				
	パスワード				
	パスワード				
	<b></b> セキュリティキーボード ⇒ <u>ヘルブ</u>				
	□ ログインしたままにする(共用のパソコンではチェックを外してください。)				
	<b>6</b> ログイン				

# mBaaSのアプリ作成

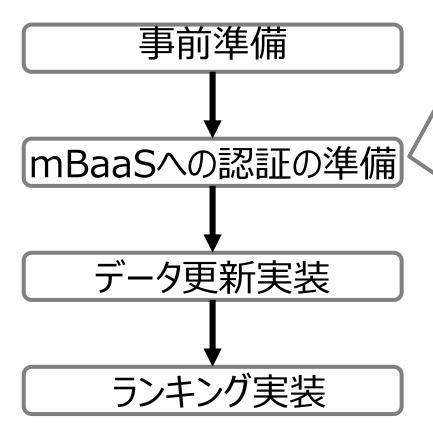
利用登録が終わると アプリの新規作成画面が表示されます。 アプリ名を入力して新規作成してください。



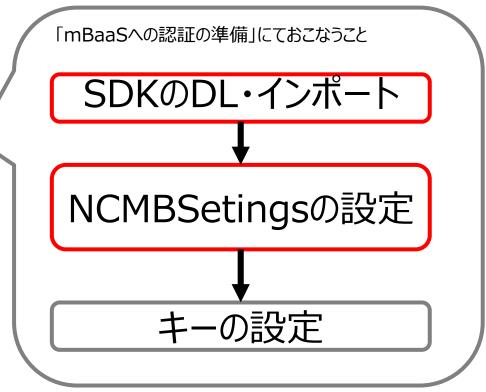


mBaaSはアプリケーションキー クライアントキー2つのキーを使いサーバー 接続の認証を行っています その2つのキーがアプリ作成時に生成されます

## ハンズオンの流れ



事前準備が終わりましたので次は自分のmBaaS環境 とUnityプロジェクトが通信できるようにします



赤枠で囲んでいるところに関しては、 もう作業を済ませていますので 最後のキーの設定のみを行ってください また資料には赤枠部分の説明もございます

※NCMBとはNifty Cloud Mobile Backendの略称です

# ※参考資料※SDKのDL・インポート(作業消費で Cloud

インポート

※今回は本ページの作業を 行う必要はありません。

#### **SDKのDL**

https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/ncmb\_unity/releases

のページを開くと下記のページが開かれます 赤丸の部分をクリックしてSDKをDLします

NIFTYCloud-mbaas / ncmb\_unity

Latest release

© v1.1.4

• d36ec19

Tags

Releases

v1.1.4

mb ncmbsdk released this on 31 Mar

- NCMBPushのプッシュ通知登録に以下の設定項目を追加
  - Category
  - o DeliveryExpirationDate
  - o DeliveryExpirationTime

#### **Downloads**

Source code (zip)

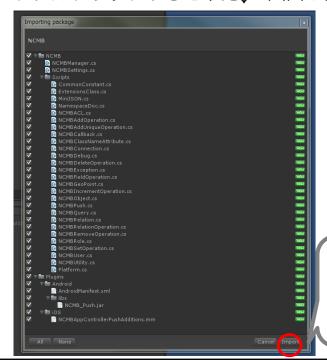
Source code (tar.gz)

クリックすると DLできます

SDKのファイルを展開すると 下記のような構成になっております



先ほどDLしたサンプルゲームを開いた状態でNCMB\_latestのUnity package file「NCMB」をダブルクリックすると下記」の画面が表示されます



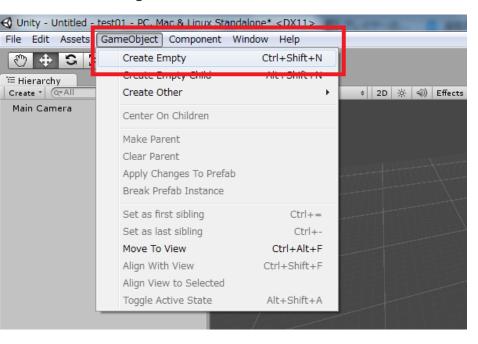
表示された 画面の「Import」 をクリックすると Import可能

# ※参考資料※ NCMBSetingsの設定(作業済) IFTY Cloud

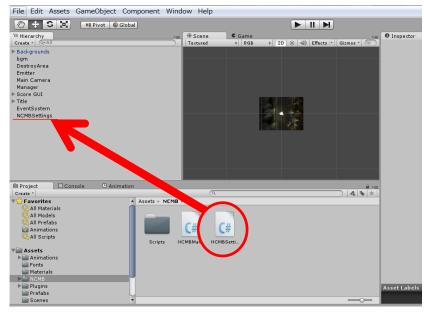
#### ※今回は本ページの作業を 行う必要はありません。

mBaaSへの認証のための設定を行う NCMBSettingsスクリプトを利用するための作業を行います

Asset>Scenesの「Start」シーンを開いて 空のGame Objectを作成し 「NCMBSettings」にリネームします

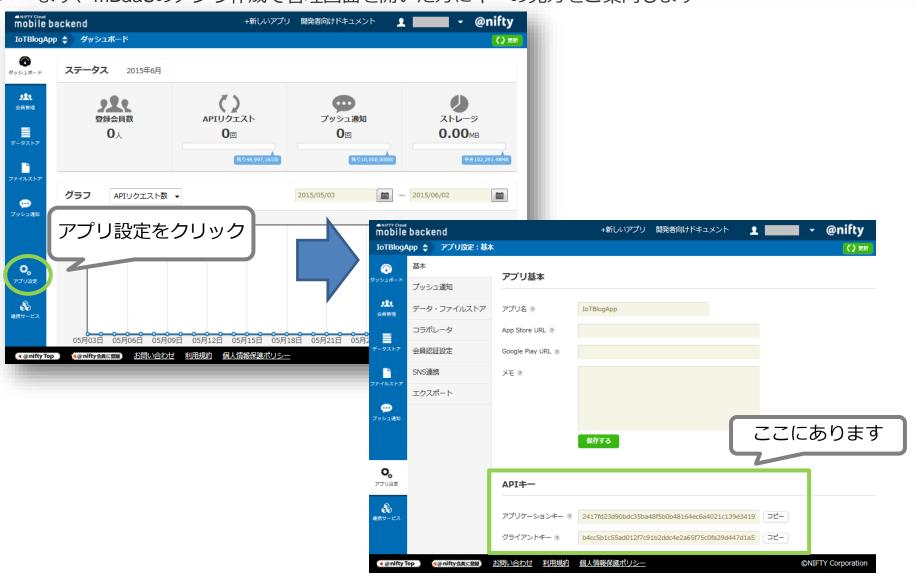


Asset>NCMBの「NCMBSettings.cs」を
「NCMBSettings」のゲームオブジェクト
にアタッチします



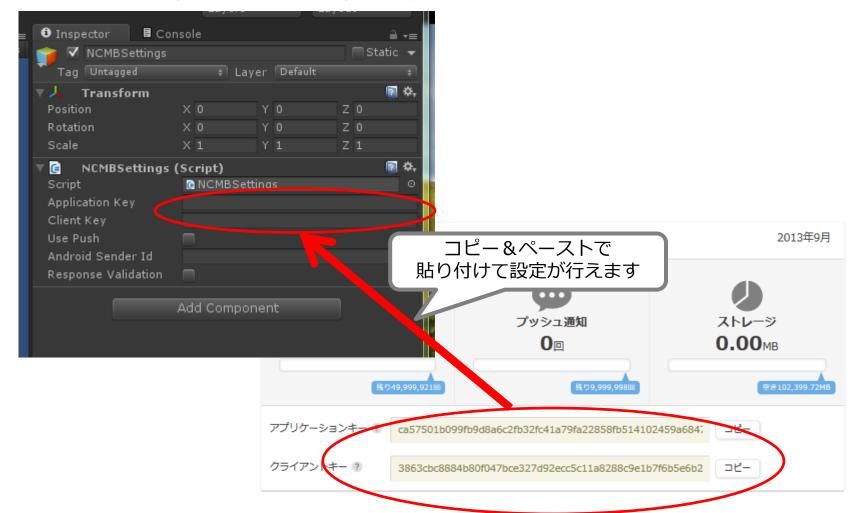
# キーの設定 1/2

まず、mBaaSのアプリ作成で管理画面を開いた方にキーの見方をご案内します



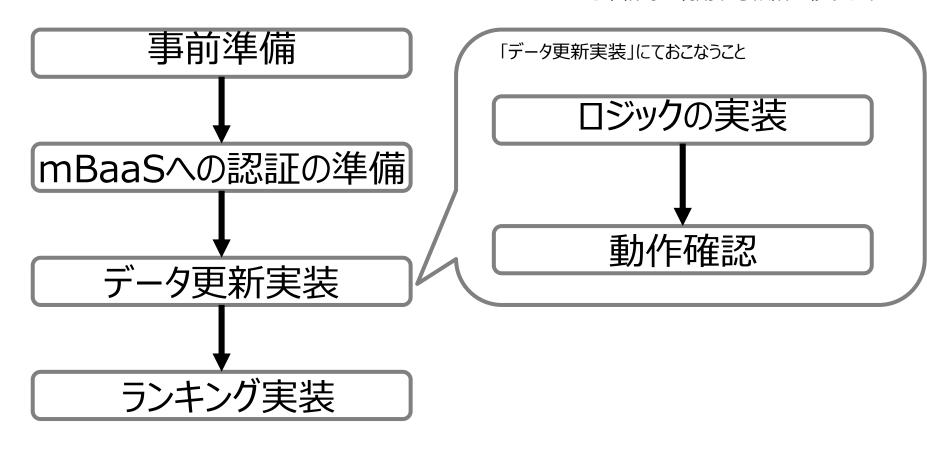
# キーの設定 2/2

UnityのHierarchy配下にあるNCMBSettingsをクリックしそのインスペクター部分に アプリケーションキー、クライアントキーを設定します



# ハンズオンの流れ

mBaaSへの認証の準備が終わりましたのでいよいよ mBaaSのSDKを本格的に利用する段階に移ります



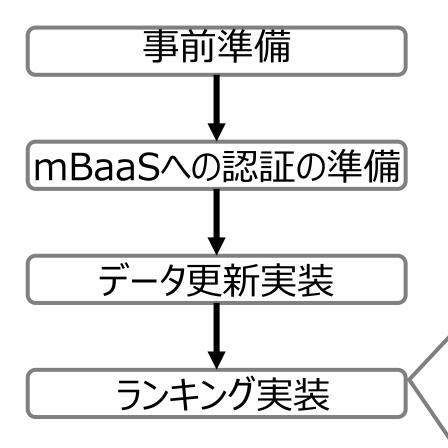
# ロジックの実装

Assets>Scripts>Runner内にあるスクリプト「Timer.cs」の77行目からはじまるOnGoalに下記の黒文字で書かれているコードを実装してください。

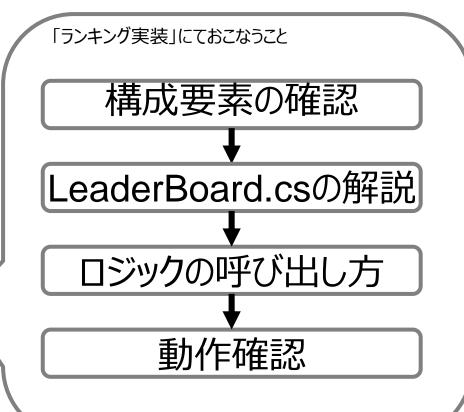
```
using UnityEngine;
using System.Collections;
using NCMB;
.(省略)
// Goal到着が検知されたとき
void OnGoal(){
       goal = true;
       //クラスの指定
        NCMBObject timeClass = new NCMBObject("Time");
        //カラムと挿入するデータの指定
        timeClass["time"] = lapTime;
        //非同期でのアップロード
        timeClass.SaveAsync();
```

実際にゲームを実行し、データがクラウドに保存されるか確認してください。

# ハンズオンの流れ



データストアの取得を応用し、ランキングを作成します。ハンズオンではコーディングはせず、ランキングの構成要素とロジックの解説を行います。



# 構成要素の確認

ランキングはAsset> Scripts >LeaderBoard のスクリプトで取得を、描画をTimer.csで行っています。 構成要素を整理して確認します。

- LeaderBoardフォルダには以下のスクリプトが含まれています
  - LeaderBoard.cs
    - mobile backendと接続して経過時間を引き出す
  - > Rankers.cs
    - 引き出したスコアと名前を一時的に保存するもの
- ランキングの描画は以下のメソッドで行って おります
  - » Timer.csの55行目から71行目

### LeaderBoard.csの解説1

Assets > Scripts > LeaderBoard内にあるスクリプト「LeaderBoard.cs」を 参照ください

public void fetchTopRankers(){

// データストアの「HighScore」クラスから検索

時間を保存しているTimeクラスを操作する クエリの作成

NCMBQuery<NCMBObject> query = new NCMBQuery<NCMBObject> ("Time");

query.OrderByAscending ("time");

timeカラムを昇順に並び替えて 引き出すよう設定

query.Limit = 5;

5個だけ取り出すように設定

#### LeaderBoard.csの解説2

Assets > Scripts > LeaderBoard内にあるスクリプト「LeaderBoard.cs」を参照ください

```
query.FindAsync ((List<NCMBObject> objList ,NCMBException e) => {
                            時間を引き出す操作
       if (e != null) {//検索失敗時の処理
       } else {//検索成功時の処理
              List<NCMB.Rankers> list = new
List<NCMB.Rankers>();
              foreach (NCMBObject obj in objList) {
                 引き出したオブジェクトからtimeだけを取り出す
              string t = System.Convert.ToString(obj[" time "]);
 引き出した
              list.Add( new Rankers( t ) );
時間をRankers
クラスに保存
```

今回、LederBoard.csはUnityに依存しない形で実装しています。 開発状態によってはこのようにUnityに依存しない形で実装することもあるかと思いますので その場合のメソッドの呼び出し方についても記載しておきます

LeaderBoard IBoard;

|IBoard = new LeaderBoard(); // LeaderBoard クラスのインスタンス生成

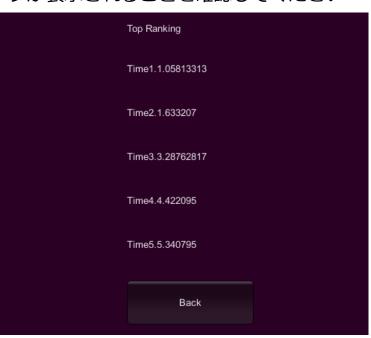
|IBoard.fetchTopRankers(); //メソッドの呼び出し

# 動作確認

一度Asset>Scenesの「Start」 シーンに戻っていただきゲームを実行してゴールしてください ゴール時の画面の下部「Ranking」ボタンをクリックしランキングが表示されることを確認してください







ここをクリック

上記のようにランキングが表示されたら成功です!

ゴール後管理画面よりデータストアを ご確認いただき左記のようにデータが 入っていることもご確認ください



object)	d tim	e createDate ▼
dhra58	NARCandohh 35.0	0738 2015-07-02T00
□ 15djei7	tV8Tb1WnY 15.	7273827 2015-06-29T21
☐ HGTyfu	PQhstSjZvH 58.	31019 2015-06-29T21

# まとめ

ハンズオンは以上にて終了です。お疲れ様でした! 本日は以下のことを体験していただきました。

- ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

またmBaaSはデータストアだけでなく、プッシュ通知の配信なども行えます。 プッシュ通知の実装に関するドキュメントもございますのでこちらもぜひ一度お試しください。

プッシュ通知の解説ドキュメント http://mb.cloud.nifty.com/doc/sdkguide/unity/push.html

この他にもなにかわからないことがありましたら ユーザーコミュニティもご用意していますのでそちらもぜひご利用ください!

ユーザーコミュニティ

https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/UserCommunity

本日はお忙しい中、ハンズオンにお越しいただきありがとうございました。 今後とも二フティクラウドmobile backendをなにとぞよろしくお願いいたします。

# 補足: UnityRemote4でのデバッグ

このハコスコアプリをUnityRemote4でデバッグできます。

デバッグの方法は下記のUnityRemote4のドキュメントに書かれています。

http://docs.unity3d.com/ja/current/Manual/UnityRemote4.html



ビルドをしなくても スマホでデバッグできます。

加速度などのセンサの値も 取得できるのでハコスコなどの 実機動作確認を行う際に使えます

#### Android:

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.unity3d.genericremoteiOS:

https://itunes.apple.com/us/app/unity-remote-4/id871767552

# 補足:障害物生成プロジェクトについて

今回障害物のプロジェクトは 多くのUnityチュートリアルを執筆されている hiyotamaさんブログのcreatescript

http://hiyotama.hatenablog.com/entry/2015/05/0 9/080000

を参考にさせていただいています。

素晴らしいUnityの解説がたくさん載っていますので皆さん、ぜひお読みください。

hiyotamaさんありがとうございます!

@nifty 🛇

# ニフティとなら、きっとかなう。 With Us, **You Can**.

NIFTY Cloud